

床置き型手すり バディーⅡ
【床用】【座位用】

取扱説明書



目 次

○注意事項	P1
○各部名称および梱包内容	P2
○設置方法	P3
○高さ調整方法	P4
○グラつき対策	P5
○お手入れ方法	P5
○点検項目	P6
○このようなときには	P6
○仕様	P7

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。利用者様の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談した上でご使用ください。利用者様の身体状態、設置場所を十分確認し、安全であることを確認してからご使用ください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

: してはいけない「禁止」を意味します。

: 必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項



警告

①寝返りバーやサイドバーのすき間に頭や首が入らないように十分注意してください。

寝返りバーやサイドバーのすき間に頭や首が入らないようにしてください。

頭や首がすき間にいると抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。

②寝返りバー、丸型手すり、サイドバーに座ったり、踏み台にしないでください。

寝返りバー、丸型手すり、サイドバーに座ったり、踏み台にしないでください。

本体が外れたり、破損して転倒やケガをするおそれがあります。

③屋外や風呂場など風雨にさらされたり水気のある場所では使用しないでください。

バディーIIは屋内専用です。屋外や風呂場などの水気の多い場所に設置すると、水分などで床面が滑ったり、不安定になり転倒やケガをするおそれがあります。

④寝返りバー、丸型手すり、サイドバーはしっかりと固定して使用してください。

寝返りバー、丸型手すりを固定しているクランプの強度を確認し、簡単にずれたり、外れたりしないことを確認して使用してください。また、サイドバー使用時にはブラケットのネジをしっかりと固定して使用してください。

取り付けが不十分な場合は、使用中に転倒やケガをするおそれがあります。

⑤クランプカバーを必ず取り付けて使用してください。

バディーIIを使用する場合は、クランプカバーを必ず取り付けて使用してください。

取り付けないで使用するとクランプストッパーなどに頭や顔などをぶつけてケガをするおそれがあります。

⑥サイドバーを使って立ち上がったり、座ったりしないでください。

サイドバーを使って立ち上がったり、座ったり(強く引いたり、押したりする動作)するとサイドバーが動き、転倒やケガをするおそれがあります。

⑦バディーII(座位用)使用時は、ベッドからの転落に十分注意してください。

バディーIIとベッドのすき間から落下したり、バディーIIの上から身を乗り出したりして落下し、ケガをするおそれがあります。

寝返り、起き上がり、立ち上がりは十分注意して行ってください。



注意

①バディーIIを移動したり運搬する場合は、落下などに十分注意してください。

バディーIIを移動したり運搬する場合は、寝返りバーや丸型手すりを持たないでください。

寝返りバーや丸型手すりを持って移動や運搬を行うとベースプレートから寝返りバー、丸型手すりが外れ、足元などに落しケガをするおそれがあります。

②ベースプレートと床面との段差でつまずかないように十分注意してください。

ベースプレートと床面の間には段差があります。

段差でつまずいて転倒などしないよう、十分注意してください。

③バディーII設置後、周囲の障害物などに十分注意してください。

利用者様の動作や、歩行される場所に障害物などがあると、ぶつかったり万が一、転倒した場合は、ケガをするおそれがあります。

④バディーII本体にぶつからないようにご注意ください。

利用者様の身の回りのお世話をするとときや本体使用中など、バディーII本体にぶつからないようにご注意ください。

バディーIIは金属製のため、強くぶつかると打撲のおそれがあります。

⑤火気を近づけたり、ストーブやファンヒーターなどのそばで使用しないでください。

火気やストーブ、ファンヒーターなどの熱により製品を損傷したり、火災の原因になることがあります。

⑥お客様による分解・改造・修理はしないでください。

変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。

⑦本来の目的以外に使用しないでください。

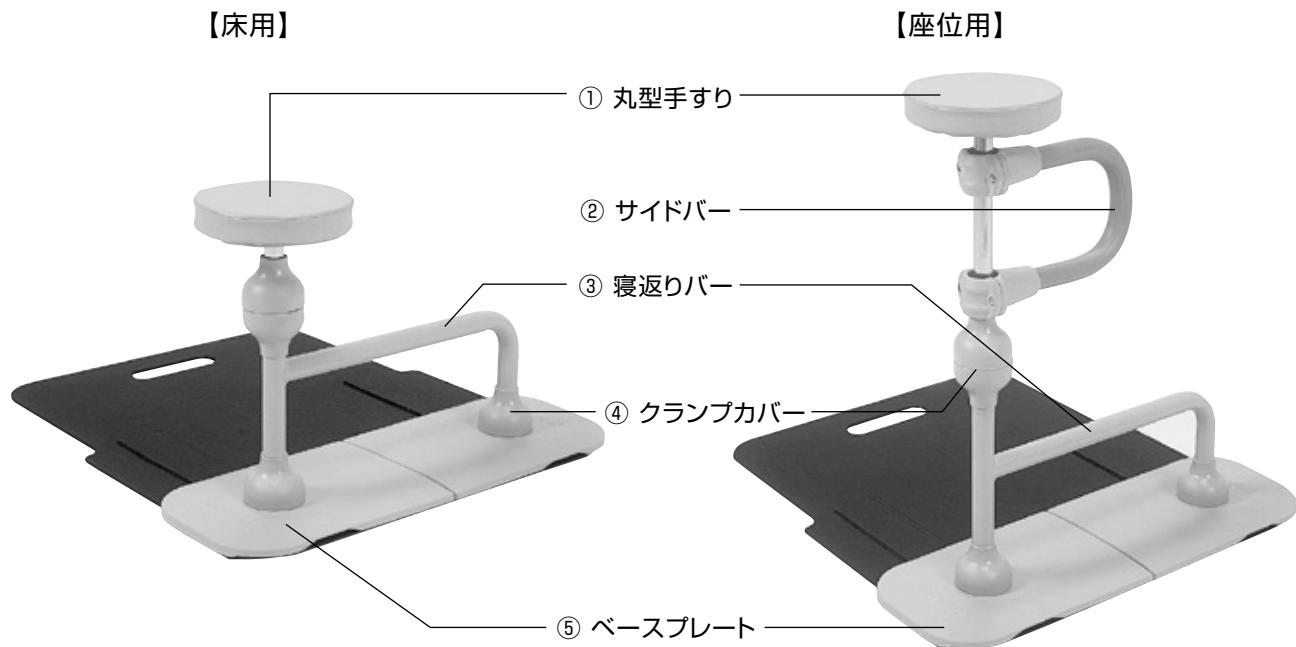
本来の目的以外に使用すると、製品が外れたり思わぬケガをするおそれがあります。

⑧有機溶剤やスプレーイタイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴や湿気をしっかり拭き取ってください。

各部名称および梱包内容

各部の名称



梱包内容

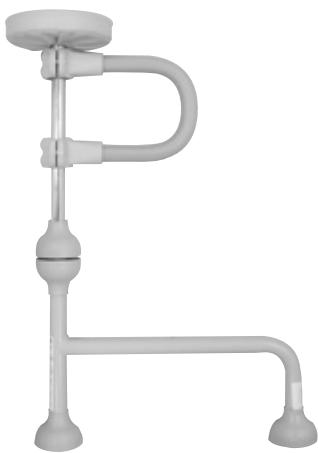
以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。

万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

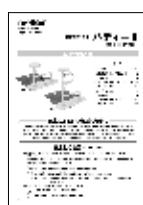


【床用】
寝返りバー、丸型手すり

【座位用】
寝返りバー、丸型手すり
サイドバー



付属品



- 取扱説明書兼保証書：1部



(床用のみ)



(座位用のみ)

- 置アンカー：1ヶ

- 六角レンチ：1ヶ

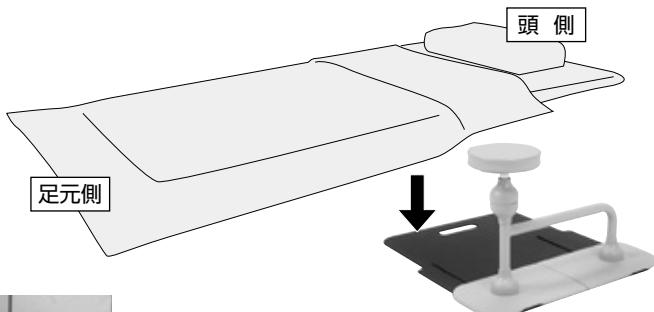
設置方法

バディーIIの設置

床用

使用する布団や座布団の下にベースプレートを置いて下さい。その後、寝返りバーと丸型手すりを取り付けてください。

その場合は、丸型手すりが必ず足元側に来るよう設置してください。



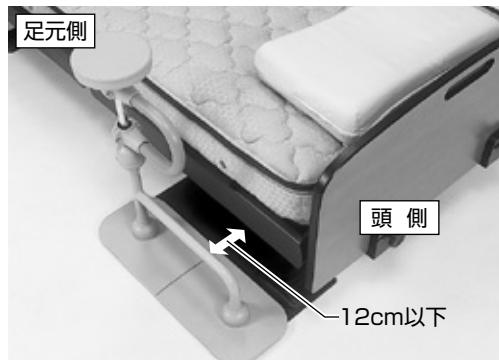
【床用設置例】



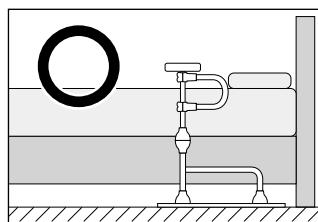
座位用

使用中のベッドやいす、ソファーなどの脚部をベースプレートの上に載せて使用します。

このとき、安全対策としてバディーIIとベッド、ソファーなどの側面のすき間は12cm以下にするようにしてください。また、前後の位置調整はベースプレートに載っている脚部がベースプレートから落ちない範囲で調整し、丸型手すりが足元側に、サイドバーが頭側に来るよう設置してください。



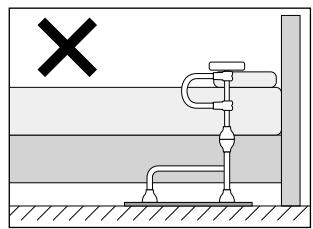
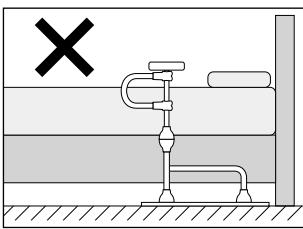
【座位用設置例】



警告

- ① 座位用をベッドへ設置する場合は、ベースプレートの設置は安全のため、2人作業で行ってください。
- ② 座位用を設置する場合は、サイドバーの向きが必ず頭側に来るよう設置してください。
- ③ サイドバーはベッド上の寝返りや体を引き寄せる為に使用するものですので、サイドバーを使って立ち上がったり、座ったりしないでください。

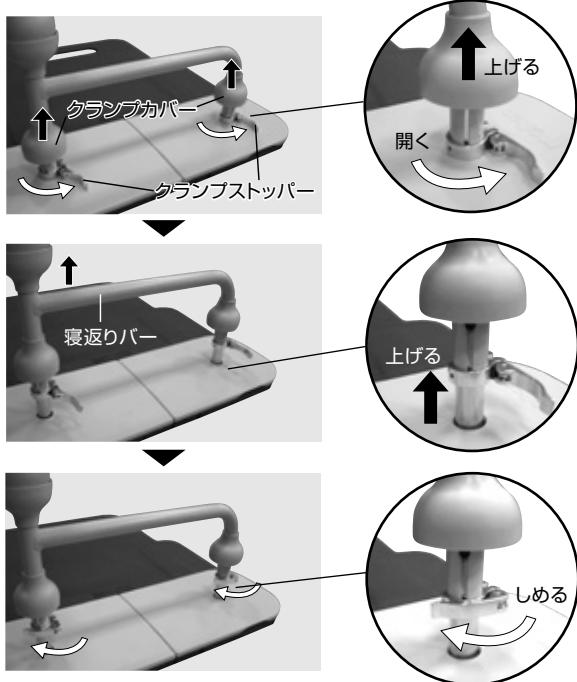
【不適切な設置例】



高さ調整方法

寝返りバー、丸型手すり高さ、サイドバー調整方法

寝返りバーの高さ調整(床用のみ)

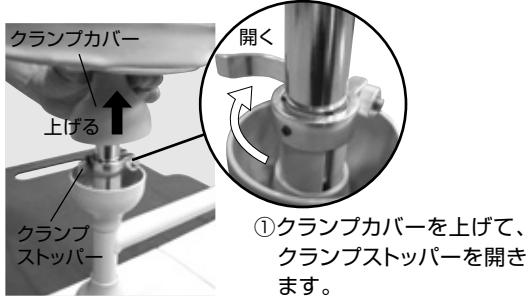


①クランプカバーを上げて、クランプストッパーを開きます。

②寝返りバーの高さを調整します。

③クランプストッパーをしめて、クランプカバーを下げます。

丸型手すり、サイドバーの高さ調整



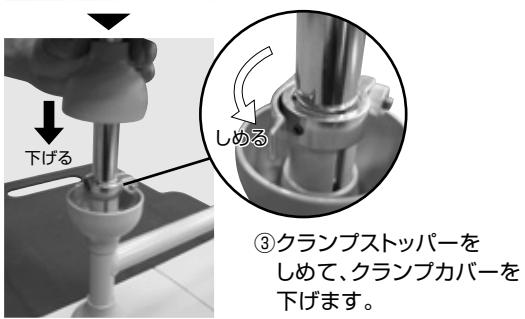
①クランプカバーを上げて、クランプストッパーを開きます。



※座位用には
クランプストッパーが
2つあります。



②丸型手すりの高さを
調整します。

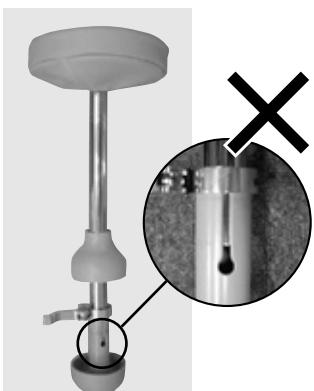


③クランプストッパーを
しめて、クランプカバーを
下げます。

高さ調整の注意点



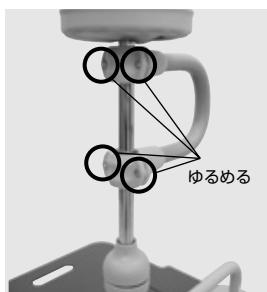
伸縮パイプの端面が見えない
ようにしてください。



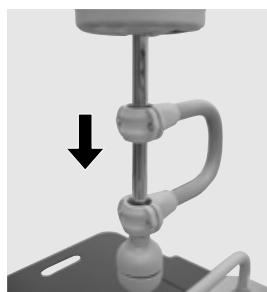
伸縮パイプの端面が見えるまで
伸ばさないでください。
(高さを上げ過ぎ)

高さ調整方法

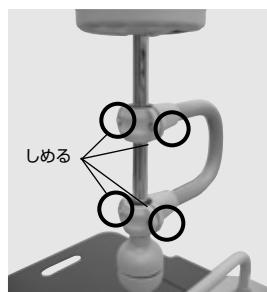
サイドバーの高さ調整 ※先に丸型手すりの調整を行い、サイドバーの高さを調整するスペースを確保してください。



①サイドバー ブラケットのボルトを六角レンチでゆるめます。(4ヶ所)



②サイドバーの高さを調整します。



③サイドバー ブラケットのボルトを六角レンチでしめます。(4ヶ所)



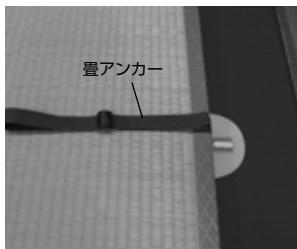
警告

- ①高さ調整後、クランプストッパーは必ずロックしてください。
ゆるんだまま使用すると、つかまつたときに転倒・転落し、ケガをするおそれがあります。
- ②クランプカバーを必ずかぶせて使用してください。
- ③サイドバー固定ネジはしっかりと固定してください。
ゆるんだまま使用すると使用中に固定ネジが外れ、サイドバーが下がったり外れるおそれがあります。
- ④高さ調整後、必ず各パーツに力をかけて、グラつきがないことを確認してください。

グラつき対策

畳アンカーの使い方

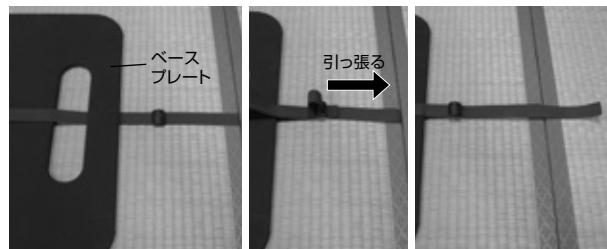
設置面積が広く、滑り止め加工したベース部により、安全で安定した設置を可能にしていますが、グラつきが気になる場合は、畳の下に入れて固定する畳アンカーを使用してください。



①畳を持ち上げて、畳アンカーの丸型部分を差し込みます。



②ひもを残して畳ではさみます。



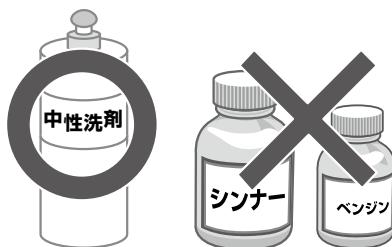
③ベースプレートに畳アンカーのひもを通し、バックルで固定します。

お手入れ方法

ベースプレート、寝返りバー、丸型手すり、グリップ

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴・湿気をしっかり拭き取ってください。

※有機溶剤(シンナーやベンジンなど)やスプレーイタイプの殺虫剤などを本体に直接噴射しないでください。



点検項目

バディーII組み立て後の確認事項

組み立てが完了しましたら、下記の点検項目を確認してください。

またこの点検項目は日常の点検にもお使いください。

点検項目		確認	
1	ベースプレートと寝返りバーの連結 ・ベースプレートと寝返りバーはクランプストッパーでロックされていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照
2	丸型手すりの取り付け確認 ・高さ調整後、クランプストッパーをロックしていますか？ ・丸型手すりに体重をかけて下にさがりませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照
3	バディーIIのガタつき確認 ・バディーIIにガタつきはありませんか？ ・平らな場所に設置していますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P3、P6参照
4	クランプカバーの取り付け確認 ・クランプストッパー部分にクランプカバーを取り付け クランプストッパーにかぶせていますか？(合計4ヶ所)	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照
5	サイドバーの取り付け確認(座位用) ・サイドバーを前後させガタつきはありませんか？ ・サイドバーに体重をかけて下にさがりませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4、P5参照

このようなときには

症 状	確 認	処 置
バディーIIがグラグラして不安定	寝返りバーがグラグラしていますか？	クランプストッパー(下2ヶ所)をロックしてください。(P4参照)
	丸型手すりがグラグラしていますか？	クランプストッパー(上2ヶ所)をロックしてください。(P4参照)
丸型手すりに体重をかけると下にさがる サイドバーが動いてしまう	クランプストッパー固定ネジがゆるんでいませんか？	クランプストッパー固定ネジをしめてください。
	高さ調整ができない	クランプストッパーロックを解除していますか？ クランプストッパーロックを解除し高さ調整をしてください。(P4参照)
サイドバーがグラグラして不安定	ブラケット固定ネジがゆるんでいませんか？	ブラケット固定ネジをしめてください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)842-9975

仕様

バディーII【床用】

品番 MNTDA(床用)

- 素材：ベースプレート=スチール、パイプ部=スチール、丸型手すり部=合成皮革
- サイズ：全長70×全幅65×高さ40～56cm(無段階調整可能)
- パイプ直径：2.8cm
- 丸型手すり部直径：18cm
- 重量：11.0kg

■1年保証

バディーII【座位用】

品番 MNTDB(座位用)

- 素材：ベースプレート=スチール、パイプ部=スチール、丸型手すり部=合成皮革
- サイズ：全長70×全幅65×高さ65～78cm(無段階調整可能)
- サイドバー高さ：床面から57～70cm
- パイプ直径：2.8cm
- 丸型手すり部直径：18cm
- 重量：11.5kg

■1年保証

開発・製造元

株式会社 **モルテン**
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡
製品他、各種お問い合わせは
〒739-1794 広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX 0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp